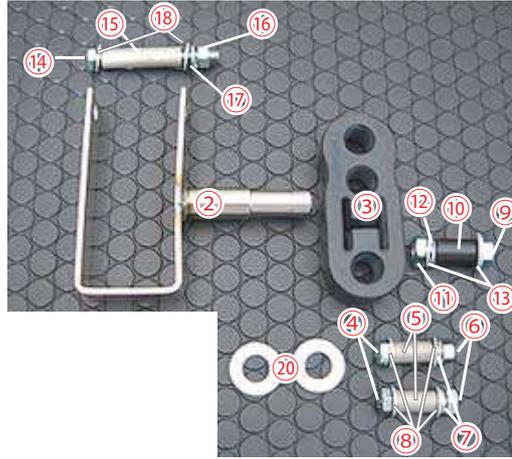
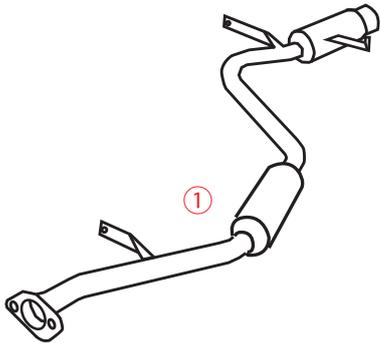


# オリジナル左出しストレートマフラー「エクセル4」 取扱説明書

- 製品名称：オリジナル左出しストレートマフラー「エクセル2」
- 車名：スズキ/ジムニー
- 車種型式・種別区分：JB23W
- エンジン：K6A

## ■ 付属部品

- ①マフラー本体 1個
- ②ステンレス製取り付け金具強化品 1個
- ③吊り下げゴム強化品 1個
- ④ボルト A (M8×45) 2個
- ⑤ボルト A (M8×45) 用カラー 12φ 2個
- ⑥ボルト A (M8×45) 用ナット 2個
- ⑦ボルト A (M8×45) 用スプリングワッシャー 2個
- ⑧ボルト A (M8×45) 用平ワッシャー 4個
- ⑨ボルト B (M10×45) 1個
- ⑩ボルト B (M10×45) 用カラー 15φ 1個
- ⑪ボルト B (M10×45) 用ナット 1個
- ⑫ボルト B (M10×45) 用スプリングワッシャー 1個
- ⑬ボルト B (M10×45) 用平ワッシャー 2個
- ⑭ボルト C (M8×49) 1個
- ⑮ボルト C (M8×49) 用カラー 12φ 1個



**警告**

作業中の火傷・怪我に注意

1、純正マフラーを自動車メーカーの作業手順に従って、取り外して下さい。  
 ※純正マフラーを取り外した中でラバーブラケット、ボルト、ナット、ガスケットは再使用します。

2、本マフラーの取付は自動車メーカーの作業手順と基本的には同様ですが、マフラー直径や形状が一部異なる為、下記の事項を確認しながら作業を行って下さい。

- ① 製品全体図を確認し、取付の手順を良く理解して下さい。
- ② マフラーを自動車に仮付けします。(仮付け：ボルトを手で締め付ける程度)
- ③ マフラーの位置関係、クロスメンバーまたはその他周辺部品とのクリアランスなどを確認して下さい。
- ④ 仮付けしてあった各部のボルトやナットを自動車の前部から締め付けていきます。その際にフランジとガスケットのずれを確認しながら作業を行ってください。
- ⑤ 締め付けが完了したら、テールパイプと自動車のクリアランスを確認して下さい。テールパイプが近すぎたり、接触している場合は、面倒でも最初から締め直して下さい。※クリアランスをそのまま放置しますと、異音が生じたり樹脂バンパーが溶けるなどの問題が生じます。
- ⑥ 取り付けが完了したら再度取り付けたマフラーを手で揺さぶって、異音、クリアランスを確認して下さい。
- ⑦ エンジンを始動して暖気運転をし、約 2,500 回転で各フランジからの排気漏れ、各部の異音を点検して下さい。異音が見つかった場合は、面倒でも再度取り付けし直して下さい。



取付金具をつけた状態



表面



裏面

K-PRODUCTS  
 株式会社 ケイプロダクツ  
 〒999-1353  
 山形県西置賜郡小国町大字兵庫館 3 丁目 5-20  
 TEL : 0238-62-4901  
 FAX : 0238-62-4902

## 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく事を次のように説明しています。標示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

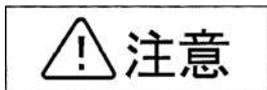


誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



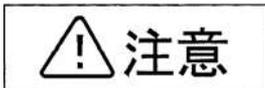
誤った扱い方をすると、人が損害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。

### 取付の前に



1. オリジナル左出しストレートマフラー（以下マフラーと略す）の取付には専門技術と経験が必要です。安全のため、設備の整った自動車整備工場または、販売店に依頼または相談してください。
2. マフラーを取り付ける際に、必ず安全な場所に車を完全に停止させたところを確認してから作業を行ってください。また、停止させてからすぐに作業を行いますと、エンジンや消音器、その周囲が高温になっておりますので、作業は低温になったことを十分に確認してから行ってください。ケガ・ヤケドなどの原因になります。
3. マフラーを取り付ける際は、必ず自動車用ジャッキを使用してください。やむおえずガレージジャッキを使用する場合はリジトラック、うま（安全スタンド）を併用して作業してください。車載ジャッキでの作業は危険ですので、絶対におやめください。
4. マフラーを指定の取付位置以外での取付はしないでください。誤った位置への取付を行いますと落下や故障だけでなく、交通事故やケガなどの原因になります。
5. マフラーの取付において、取付方法がわからない場合や、不良品での無理な取付はしないでください。取付の際のケガや交通事故の原因になります。
6. マフラーを取り付ける際、過大な力を加えたり、物をぶつけたりしないでください。故障の原因になることがあります。

### 取り扱いの前に



1. マフラーはその自動車標準地上高または、それに近い状態において路面に対してのクリアランスが確保されるように設計されています。車高を下げる構造を行った場合、路面や駐車場などの突起物に接触して破損したり、接触物を破損することがあります。また破損部分より排気ガスが漏れる可能性があるため、車高を著しく下げないようにしてください。
2. 自動車の消音器関係は、正しい取扱いをしても、自動車の使用状況や排気ガスの有害成分で消音性能が劣化したり、腐食して穴があくことがあります。このような場合は速やかにご相談していただき、製品本来の性能が失われていたら交換してください。また、腐食や劣化を放置すると排気ガスが車体の下部に漏れて火災の危険があるとともに、整備不良運行で運転者が罰せられることがあります。
3. 自動車の消音器関係は、長時間のアイドリング・走行をいたしますと大変熱くなります。燃えやすい物の上や枯れ葉などの上にエンジンをかけたまま、または停止直後に停車や駐車をいたしますと火災の危険があります。その場合は必ず自動車の下に燃えやすいものがないかを十分に確認してから停車をしてください。
4. エンジンをかけたままの休息や仮眠をすると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険があります。その場合は必ずエンジンを停止してください。また換気をこまめに行ってください。
5. 排気ガスの中には有害な成分が含まれております。締め切った車庫や倉庫などでエンジンをかけつづけると一酸化炭素中毒の恐れがあります。必ずエンジンの停止、または換気をしてください。
6. マフラーのテールパイプからは有害な排気ガスが排出されます。停車中または駐車中にテールパイプ付近に人（特に幼児）やペットなどがいてエンジンをかけ続けると、一酸化炭素中毒の恐れがあります。必ず、エンジンを停止してください。また風向きにも十分注意してください。
7. エキゾーストマニホールドや触媒は、特に高温になっておりますので、触れないようにしてください。大ケガをする恐れがあります。
8. リアゲートやトランクから荷物を出し入れするときに、衣類や持ち物がマフラー出口に触れますと着火したり焦げ・溶けるなどの原因になります。またお子様がお手を触れないよう十分に注意していただくとともに、停車や駐車する場合はその危険が周囲にないか気をつけてください。